

【徳島県上勝町】

校務 DX 計画

「GIGA スクール構想」が始まり、現在は児童生徒への一人一台端末とそれに見合った通信ネットワーク環境を整備し、多様な子どもたちの豊かな創造性を育む教育環境を実現すべく学校、教育委員会共に連携し情報教育の推進を行っている。

また、校務上の情報化を推進し、教員の業務量の軽減、働きやすさ等に繋がるよう「GIGA スクール構想」下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検結果を参考に、現状把握し、改善していきたい。

その中でも、令和7年度に購入を予定しているタブレット端末についても、教職員に一人一台の整備を行い、PCについても最新版を整備することで授業効率の向上を行う。また、校務支援システム等による児童生徒の成績等の適正管理や名簿等の不必要な手入力の省略を新しいツールやソフトウェア等を導入することで実現していく。さらには、学校や教育委員会間との連絡や通知は、引き続きメールや共有フォルダを利用し、会議についてもオンライン会議を積極的に行う。会議資料等についてはペーパーレス化を行い、クラウドサービスの未活用の解消やFAX利用廃止、押印廃止についても今後推進していく。

学校と保護者間においては、家庭への配布物、連絡事項、アンケート等のデジタル化を目指し、学校と保護者がスムーズに連絡を取り合える仕組み作りを検討する。

本町のような小さな町は、人材が乏しく教育委員会や学校関係、地域内にも、情報系に強い人材が少ない。そのため、ICT支援員も不在であり、現在では、「ICT支援業務」を、民間委託している。今後も、委託内容を精査し、学校、教育委員会の情報系の課題を迅速に解決できるような環境づくりを行う。

上記を進める上で、教育情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報漏洩やセキュリティ対策の研修なども行っていく。

次世代の校務支援システムについては、徳島県の教育情報化推進協議会に参加し、今後も県下統一システムの導入を行う。